

08年秋の炭焼き・窯出し例会実施報告

丹沢大山自然再生委員会との共催で炭焼き・窯出しを行いました。

11月27日に札掛森の家の炭焼き窯に原木を詰めて火入れまで行いました。

以後森の家職員により翌日窯の入口を塞ぎ、煙の様子（無色になる）を見て密閉しました。

窯が冷えてから炭出しを行いました。協会としては一昨年以降に次いで2回目の行事です。

炭焼きはノウハウの固まりで指導者がいなければ出来ない貴重な体験です。

【炭焼き】

実施日：2008年11月29日（土）10時から14時

参加者：総勢20名（指導者含む）

【窯出し】

実施日：2008年12月27日（土）10時から12時

参加者：総勢16名（指導者含む）

原木を炭に適したものと不敵なものに選別します。（素人が見ても区別ができません）

不適な原木は火入れの焚きつけ用に30センチ位に切断します。



原木の選別と焚きつけ用に切断する作業

炭となる原木（長さ90センチ）

手渡しで窯に原木を詰めて火入れを行いました。完全に着火するまで昼食時間も交替で手回し送風機で窯に空気を送り続けます。



窯の中の人に手渡しで原木を運び入れる作業



手回し送風機で空気を送り込む作業



密閉された窯の入口



窯開け作業。土煙で霞んでいます



入口付近の焚きつけは完全に燃え尽きている



炭出し作業・窯の中の様子



炭となった原木



炭の規格に合わせて切断する作業



出来上がった炭

綺麗に片付いた窯の中

今回も竹と一緒に焼きました。窯の中の位置、焼き加減などで出来栄が変わります。今回は残念ながら割れてしまいました。前は炭の焼き加減がほんの少し甘かったので竹炭は良い出来でした。



【紹介】 1月と3月に札掛森の家の行事で炭焼きがあります。

札掛森の家のホームページをご覧ください。

丹沢自然保護協会のリンクのページから移動出来ます。